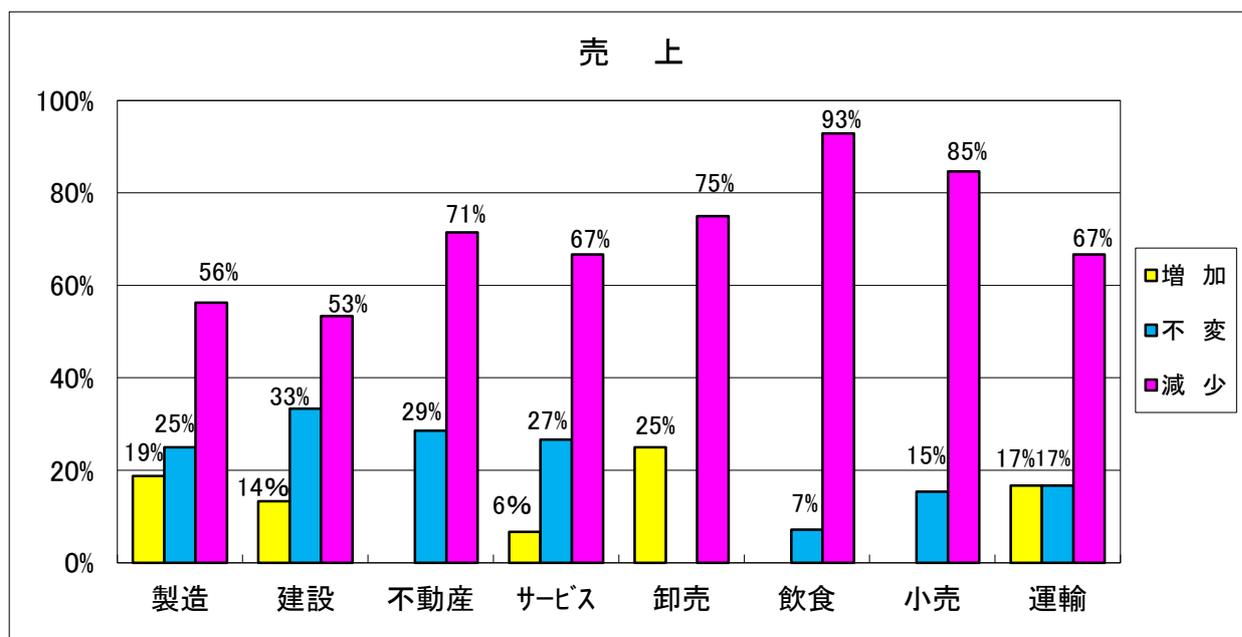


**調査1** 令和2年1月～6月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と令和2年下期の見通しについて比較表示してある。

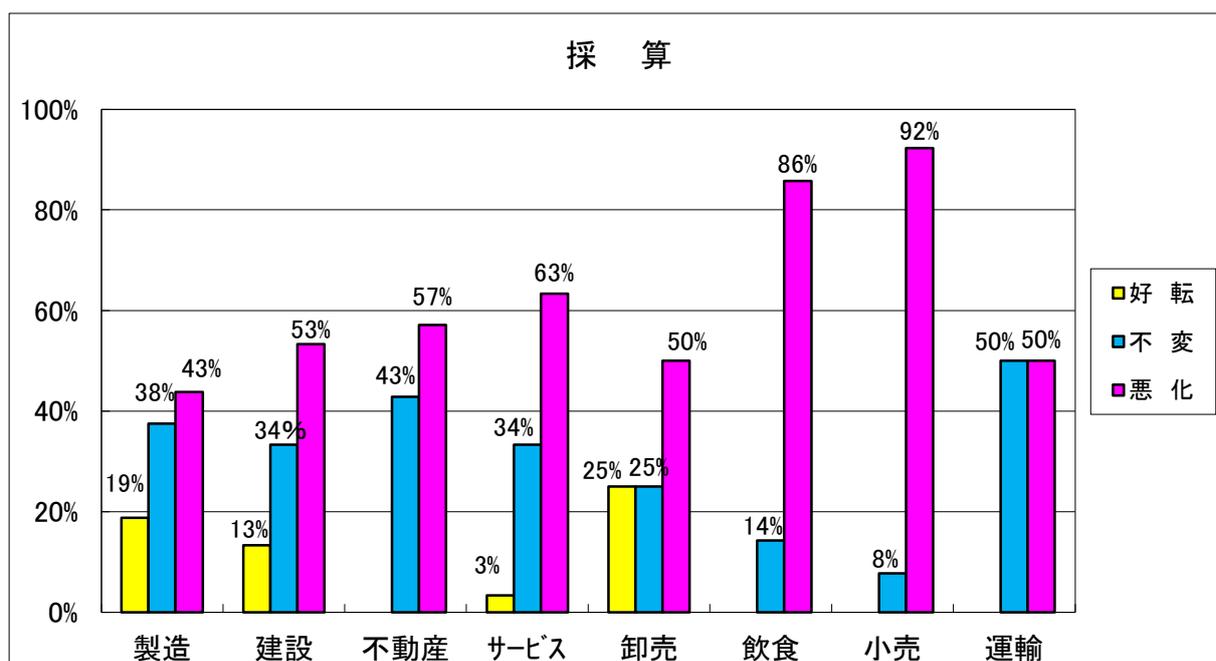
### ①売上について

全体的でみると昨年より「増加」が8%（前回28%）、「減少」は70%（前回32%）と、前回調査に比べると売上が大きく落ち込んでいる。新型コロナウイルス感染防止のため営業自粛や営業短縮などが要因と考えられる。全業種の半数以上が売上「減少」と回答している。



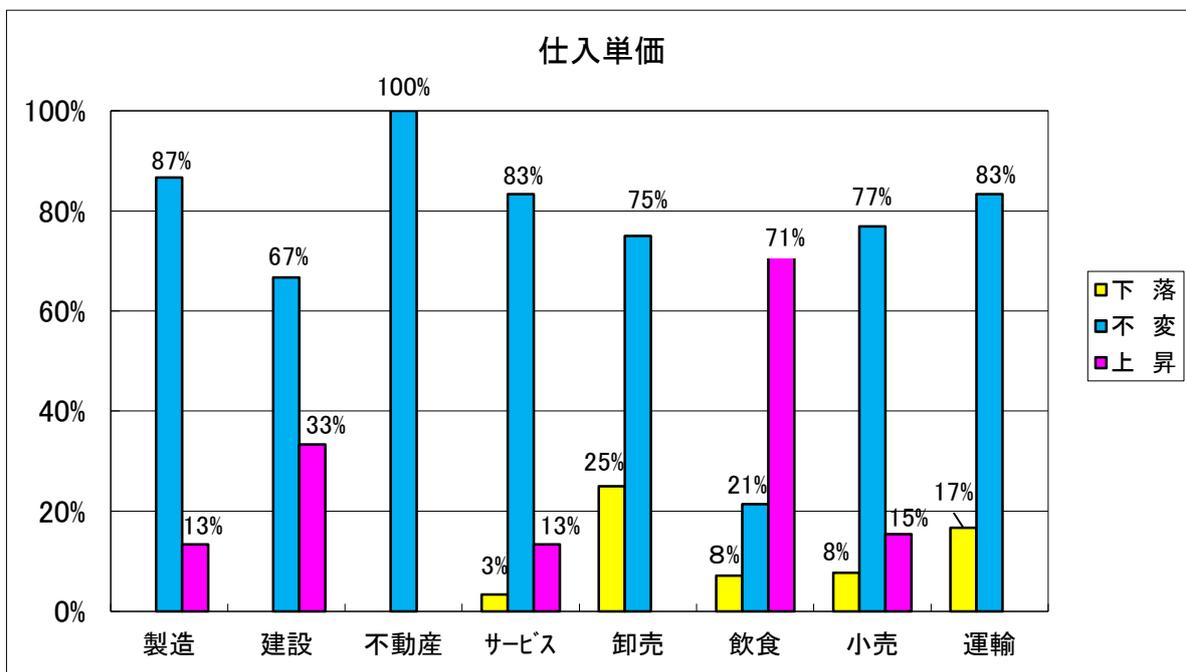
### ②採算について

全体でみると、「好転」6%（前回17%）、「不変」30%（前回50%）、「悪化」64%（前回33%）であった。業種では飲食業（86%）、小売業（92%）が「悪化」大きく、厳しい状況である。



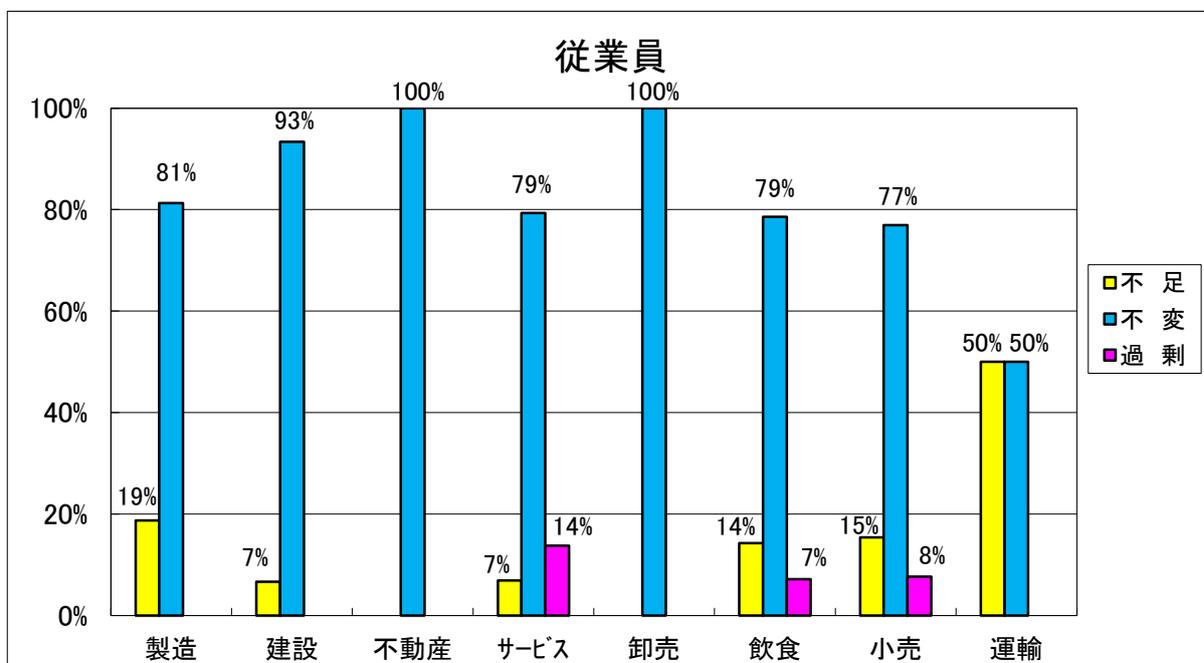
### ③仕入単価について

全体的には「不変」が73%「上昇」が22%であった。仕入単価の「上昇」顕著なのが、飲食業71%（前回75%）であった。

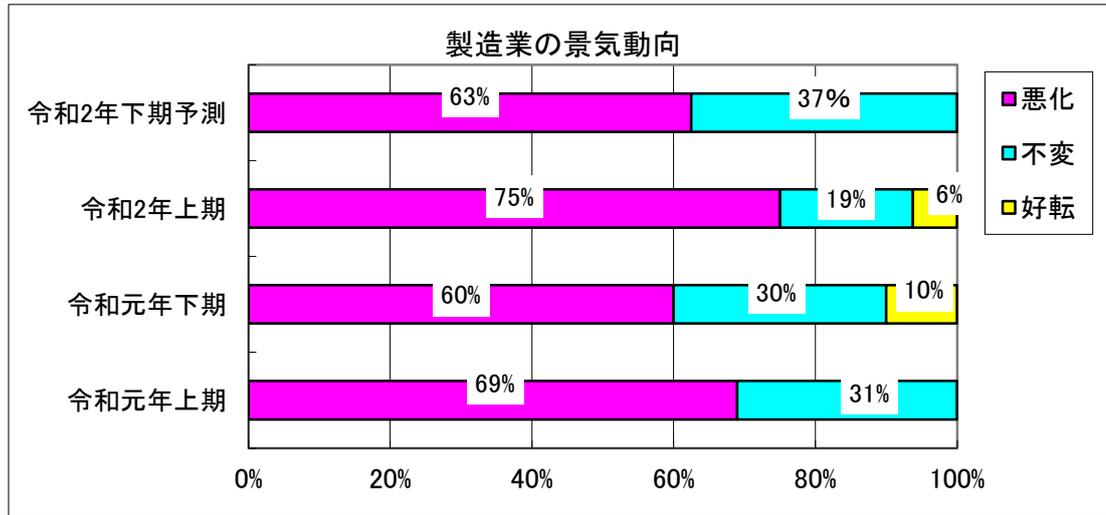


### ④従業員について

全体的にみると、企業の81%から「不変」と回答があった。そのような中、前回調査と同様に運輸業は変わらず不足の状況が続いている。若干ではあるがサービス業(14%)小売業(8%)で「過剰」と回答している。

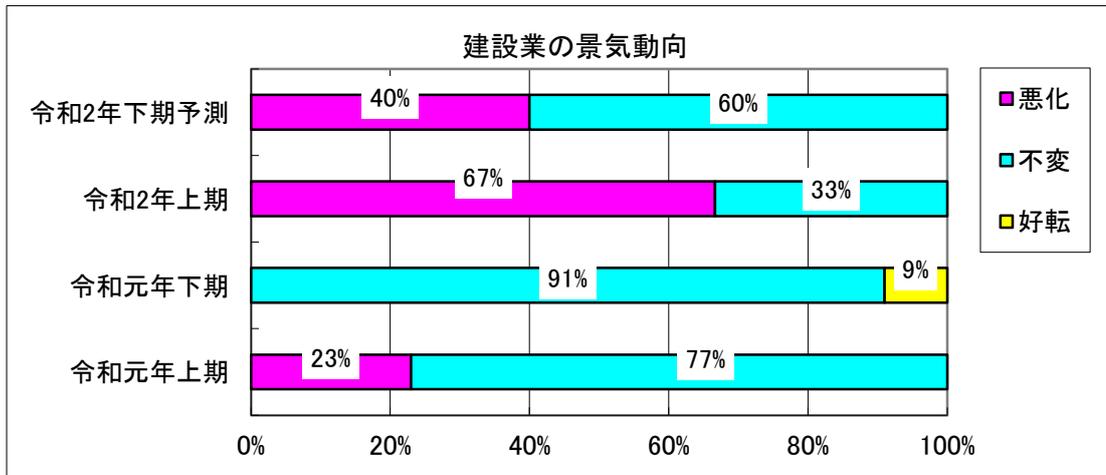


⑤業界の景気動向について



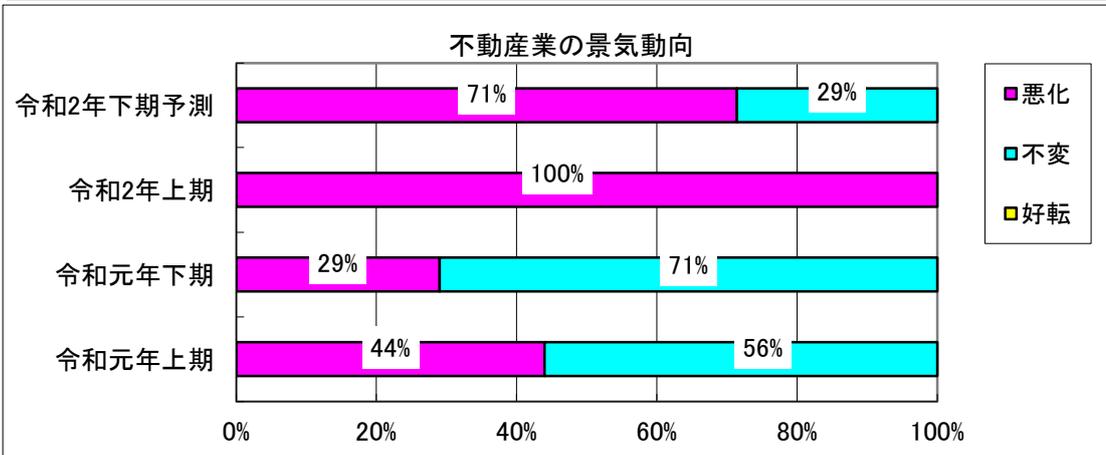
■製造業

令和2年上期では、一部「好転」があるもののコロナの影響で大きく「悪化」傾向になっている。全体の75%が「悪化」と回答した。令和2年下期の見通しは「好転」の兆しはなく、引き続いて厳しい状況が予想される。



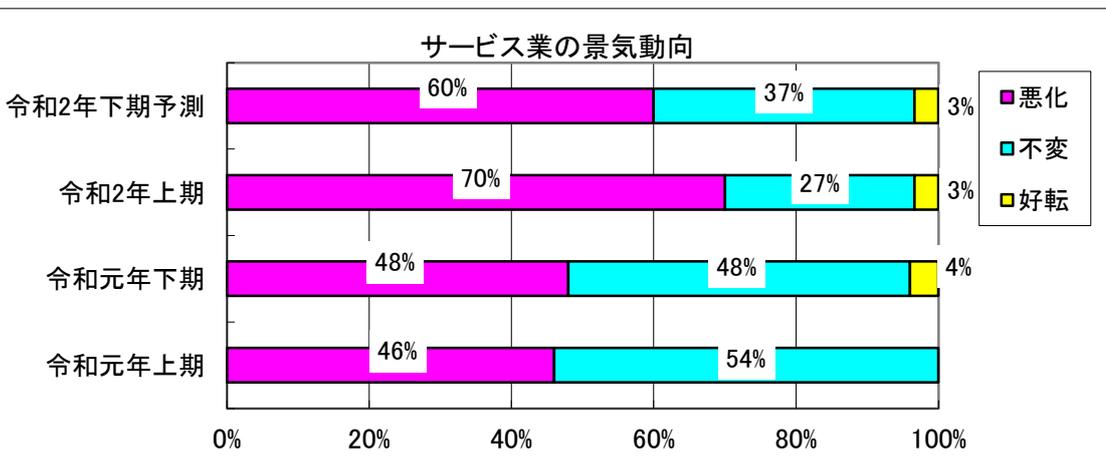
■建設業

令和2年上期は、コロナの影響で「好転」が無く、「悪化」が67%と大きく景気後退をしている。令和2年下期では、「悪化」は40%との見通しでありあまりよくない状況である。



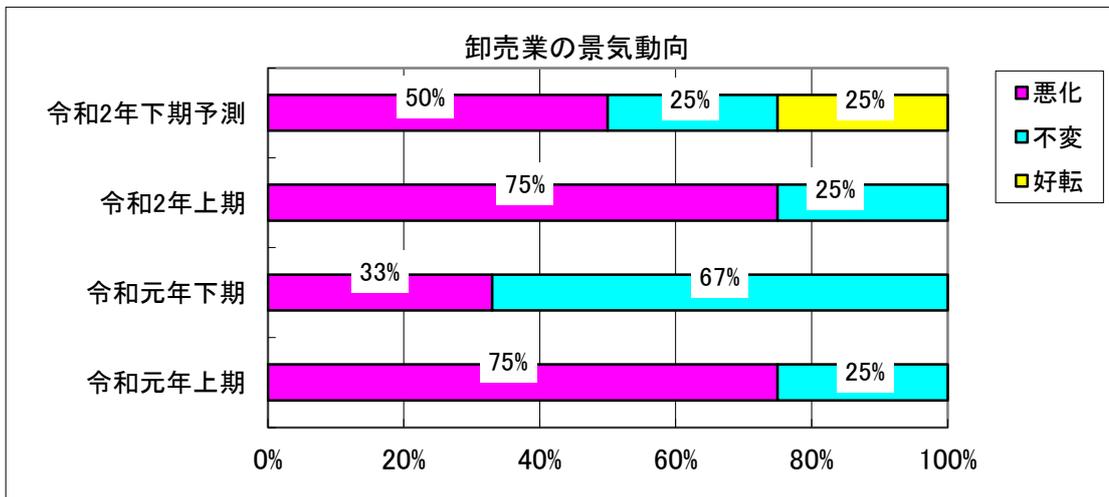
■不動産業

令和2年上期は、「好転」は無く、「悪化」が100%と厳しい状況である。令和2年下期も「好転」の見通しがなく、「悪化」が71%との見通しで厳しい状況である。



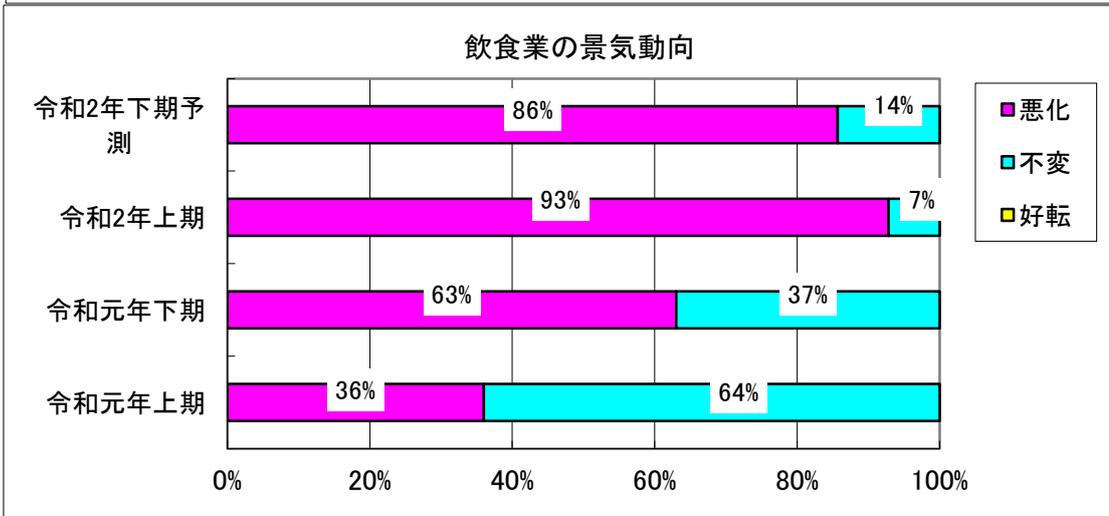
■サービス業

令和2年上期では、「好転」が3%、「悪化」が70%で厳しい状況であった。令和2年下期も「悪化」が60%と依然として厳しい状況である。コロナによる休業要請などにより景気は落ち込んでいる。



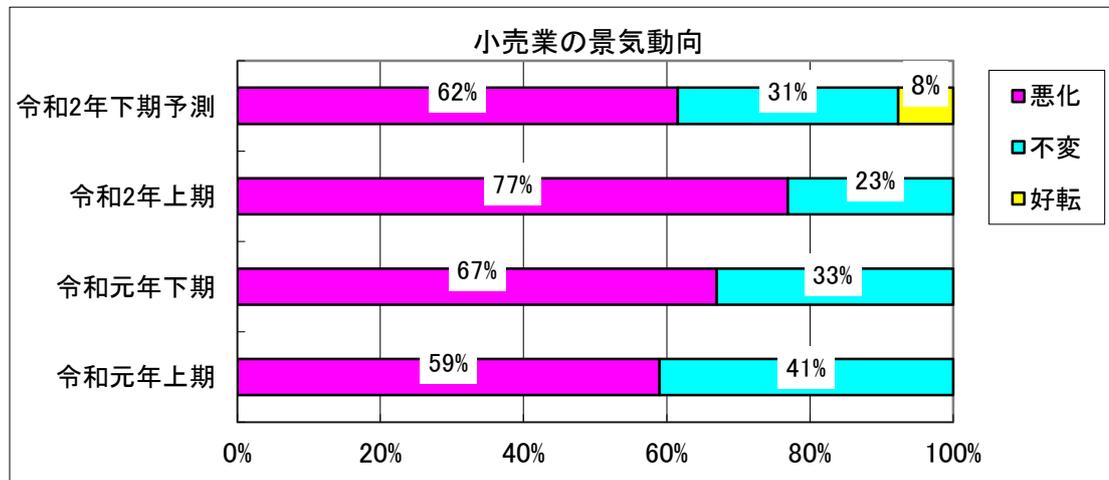
#### ■卸売業

令和2年上期は「好転」が無く、「悪化」が75%、「不変」が25%と悪化している。令和2年下期では、「悪化」が50%、「不変」が25%と依然として厳しい見通しとなっている。



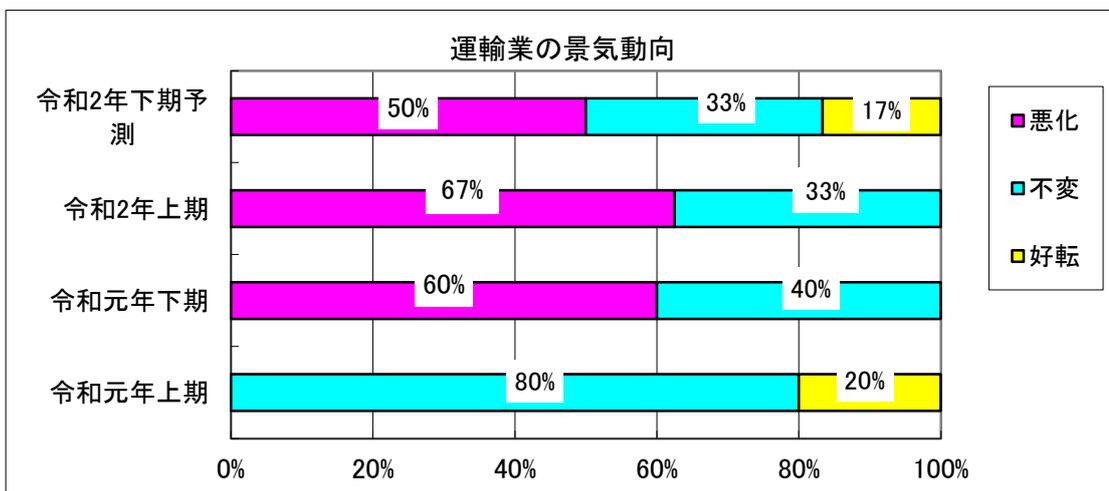
#### ■飲食業

令和2年上期では「好転」は無く、「悪化」が93%とコロナの影響で非常に悪化している。令和2年下期も「好転」は無く、悪化が86%と厳しい見通しとなっている。



#### ■小売業

令和2年上期は、「好転」がなく「悪化」が77%と景気後退がみられる。令和2年下期の見通しは「好転」7%、「悪化」が62%とかわらず厳しい見通しとなっている。

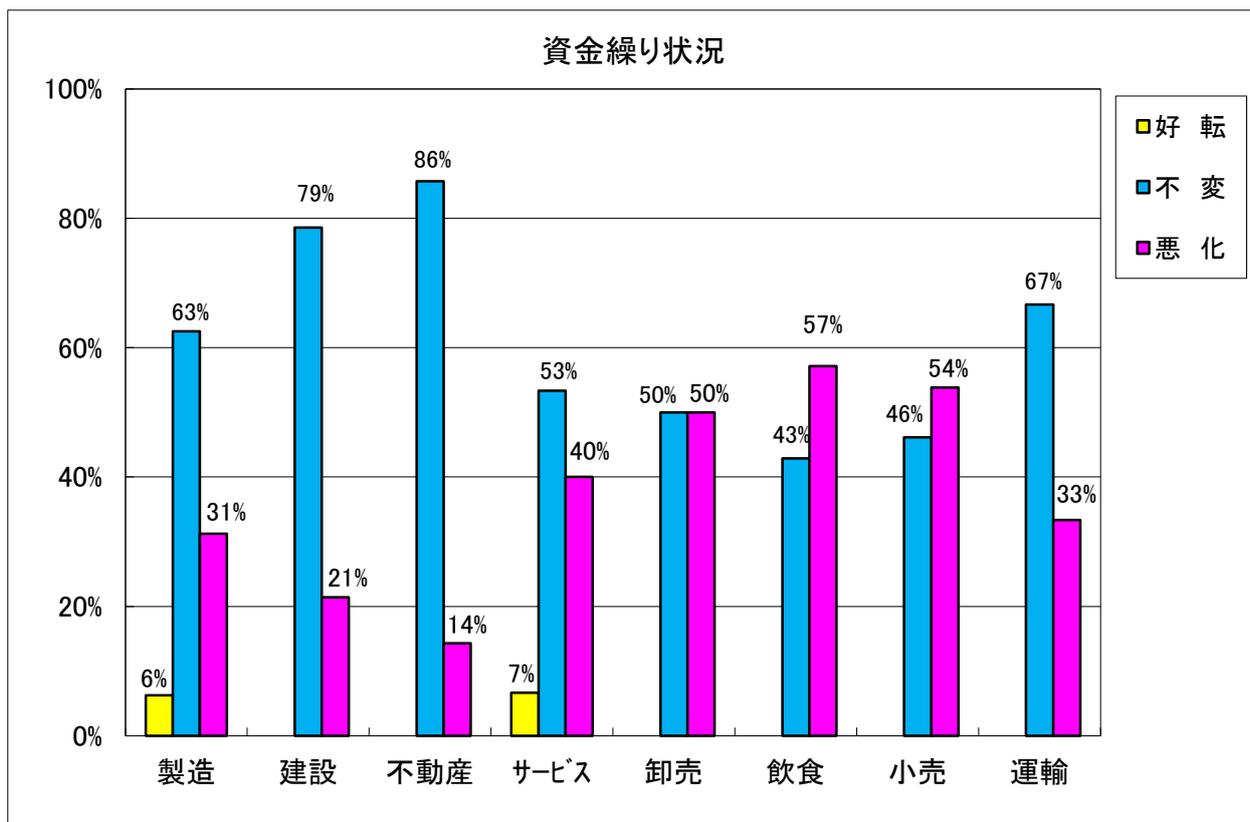


#### ■運輸業

令和2年上期は、「好転」がなく「悪化」60%と昨年の下期と比べると景気の停滞がみえる。令和2年下期も「悪化」50%「不変」が33%と厳しい見通しであった。

## ⑥資金繰りについて

全体で見るとコロナの影響により急激に資金繰りが悪化している。「悪化」が38%（前回19%）、「不変」が59%（前回77%）、「好転」が3%（前回4%）と回答している。業種で見ると飲食業・小売業・卸売業に悪化傾向が強くみられる。



## ⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が52%（前回57%）、「融資無し」が17%（前回23%）、「厳しい」が9%（前回10%）、「緩やか」が22%（前回10%）であった。コロナ関連の特別融資等により金融機関からの融資は増えている。

